



大阪市役所直營

砂利採取指定

川西組合事務所

兵庫縣川邊郡川西村

(吳服橋西詰南入)



吹田砂利發送部

主 吹田 政七



川西村長松榮清三郎氏は本村萩原に於て孤々の聲を擧ぐ、資性温厚にして思想堅實、よく事理に通曉して頭腦また明哲一面進取の氣に富みて夙に錙々の響きを放つ、明治三十六年四月村會議員に推されて村治の爲めに盡瘁し任を重ねて今尙現職に在り、同四十一年六月郡會議員に當選引續き郡參事會員に擧げられ其の任期を終るや、四十五年三月池田縣前郵便局長を拜命、地方通信事務に貢獻淺からず、大正三年十二月同局長を辭し五年六月再び選はれて郡會議員に當選し、七年二月郡會副議長に當選、穩柔の素に配するに膽汁の質を以てし緩急機宜に適し、眞摯よく職責を完ふして令聞あり、今や村首腦者の椅子に在りて精勵努力、高遠なる抱負を以て施政目に顯揚し村治の進展見るべきものあり、本郡に於ける有数の大村として近時産業の興隆大に振ひ近く町政を施行せんとするの情勢ある今日、氏の如き才識豐饒なる村長を有する事は本村の爲めに深く喜びますべし、氏また書齋に趣味を有し花卉を好愛して風流韻事を解す、吾紳の餘技として欣慕せざるべからず、年齒不惑を越ゆる五歳、世俗

に謂ふ男盛りの年輩にあり、其の前途たるや大に囑望せざるべからざるなり。

西野宇三郎氏

氏の家は代々大和屋と稱號し當地の舊家たり氏は明治戊辰の生れにして先考平左右衛門氏の嫡男なり、二十二歳にして初めて區長を勤め今尙其任に在りて至誠力むる處變らず、明治三十八年村長に選ばれ其任に就くや、快刀亂麻を斷つ底氣腕を揮ひ治績頗る顯著、衆望噴々として謳はれしが二任期を以て辭し、其後四十三年村會議員に舉げられ今日に及んで村治の爲めに盡瘁する處淺からず、大正四年更に郡會議員に當選し八年再選して現任中に在り、夙に公共の志深く一見豪放なるかに似て細密周到、先知後行の丈夫なり、殊に流暢の辯を揮つて侃々諤々、議を戦はす場合の如きは、其徹底したる情理を以て迫り對者をして心服せしむるに足るものありて議員僚輩の間に重きを爲す、今や本村一方の元老格として蔚然たる勢力を有し、日夜公事に奔走して殆ど席温まるの暇なき觀あり

川 西 村

第一總 說

川邊郡川西村は其面積〇、三七方里を有し廣表は東西二十二丁、南北一里三十二丁にして東は猪名川を隔て大坂府豊能郡池田町、細河村、北豐島村等に對し西は本郡長尾村に、南は伊丹町に、北は多田村及び西谷村の一部に各隣接す、土地は概ね北は高く南方及び東部猪名川に沿ふ地は低し。瀧山、出在家、萩原、火打小戸、小花、寺畑、榮根、加茂、久代、久代新田の十一大字より成りて村役場を榮根村に置き、戸數一千四百六十五戸、人口七千二百七十人を有する郡内北部に於ける大里巷たり。道路は四通八達し大阪より篠山に至る縣道は猪名川に併行して北上貫通し、大阪より寶塚に通ずる縣道は村の中央部を横斷して西下貫通し、其他郡道七線、村道五百數十線を有し其延長三十餘里に達す。交通機關としては鐵道省福知山線村の南部より中央部へ斜斷走行し、阪神急行電鐵の寶塚線は村の中央を東西貫通し、之れに連絡するに能勢電鐵あり、村の中央部能勢口に起點を發して北行走路す。

第二 村治機關

●村吏員 村長松榮清三郎、助役(缺員)收入役中野重治郎、書記木村勝太郎、岡山田定次郎、同尾林藤太郎、岡高木英次、書記補葛馬秀太郎同、阪上眞治▲事務委員三名、區長十一名、區長代理者十一名
●村會議員 篠木國次郎、篠木介次郎、山田源吉、多田木太郎、岡田新太郎、高木友次郎、岩田喜造、尾林繁三郎、廣末恒太郎、西野宇三郎、渡邊基三郎、北上常吉、松榮清三郎、西良富士太、中川源九郎、池田實之助、角野友次郎、藪口勘四郎

第三議會

郡會議員二名、村會議員一八名、選舉有權者左の如し

人員	現住戸數	現住人口
衆議院	千二付	一萬二付
郡會議員	三〇〇	二〇〇
縣會議員	三〇〇	二〇〇
村會議員	四七	三九

第四土地

官有地 三七反八〇三 民有々租地 五、三三反五三二 民有免租地 四九反四四四 合計 六、二九反七七七

民有地	反別	地價	地目	反別	地價	地目	反別	地價
有租田	二、九七反九七	一四、九〇圓	畑	一、〇〇反五	三、〇三圓	宅地	三九、九五坪	六、八五
地	二、九七反九七	二、〇三	山林	五三、五〇二	一、五二	原野	九二、三四	六、八五
沼	二、九七反九七	二、〇三	戶數及人口	1	字名	戶數	人口	三、八

第五戸數及人口

現住戶數 農業 四三 商業 三三 工業 二五 雜業 四三		職業別 農業 四三 商業 三三 工業 二五 雜業 四三		久代 九 新田 四 計 五、四八		人口數 寺畑 一〇 久代 九 新田 四 計 一、四五		現及瀨山 三 榮根 二七 萩原 三 火打 二 茂 一六 計 一、四九		字名 小花 一 小戸 三 萩原 三 榮根 二 火打 二 茂 一六 計 一、四九	
生産 公生 九七 私生 三二		死亡 女 九二 男 五五		婚姻 五、五		離婚 五、五		年未配偶數 八四 五五		人口數 男 三八七 女 三八七 計 七、七四	

業

和

久代信用購買
販賣組合

第七教 育

八
一三〇 六〇 聖 吾 五四六 五五七三五

小西尋常高等小學校及び附設裁縫學校、農商補習學校の三校あり現在職員は左の諸氏。
校長將積房次郎、職員(以下同じ)前川友吉、宮川三太郎、西野安治郎、宮川重男、井田榮吉、稻野舜次郎、川本八右衛門、渡邊萬太郎、柏原和夫、廣岡實、高畑四郎、上村千彦、白井舜治、山村猪一郎、永井直一、細原小イソ、久保ミヨ子、原谷ヒデノ、森田ムメ、木村ライ、裁縫教師(以下同じ)平垣ふみ、阪本ハルエ、活花教師爲見ハルエ

在學(尋常科)	男 五九	女 四九	計 一〇八
兒童(高等科)	男 三	女 三	計 六
出席	男 五	女 三	計 八
歩合	男 五	女 三	計 八
農補學校	男 二	女 二	計 四
裁縫學校	男 二	女 二	計 四
學齡(男)	三三五	女 三三五	計 七〇〇
兒童(女)	四九	女 四九	計 九八
小學校基本財産收入	一五	女 一五	計 三〇
國庫交付金	一三五	女 一三五	計 二七〇

所得稅附加稅一、七〇七賣藥營業稅附加稅一、六六八縣稅營業稅附加稅三三三縣稅雜稅附加稅五、九七四計八六、一五六
支出(經常部)役場費二〇、二八七國會議費二九六小學校費二六、四二四裁縫學校費五六一農商補習學校費二、四五衛生費一、五九七勸業費一五一警備費二八九村基本財産造成費一三、一六〇小學校基本財産造成費二、〇八一獎學基金造成費八四〇諸稅及負擔三、九八〇其他二八五計六〇、一九五(臨時部)積立金に編入二、〇九國勢調査費六一五補助金四〇一土木費六、二四二校長住宅購入又は新築費六、七三計一四、一九〇合計七、四三八

基本財産	村基本財産	小學校基本財産	計
及積立金	一七、八四四	四、八八四	三、七四四
租稅負擔	三、〇五五	六、三六二	九、六六二
直接國稅	三、〇五五	六、三六二	九、六六二
村稅	三、〇五五	六、三六二	九、六六二
救濟事業	四六	三六	八二
小學校敷地	三八	三八	七六
購入資金	三八	三八	七六
計	三八	三八	七六
總計	三八	三八	七六

第十衛 生

九
醫師其他營業 醫院二、出張所一、醫師二、産婆六、藥種商一六、製藥者五、鍼術七、鍼灸營業二、按摩

第八兵 事

川西村在郷軍人分會は陸軍歩兵中尉宮川正一氏を分會長とし二百七十餘名の會員あり、各大字別に班を區分し左記諸氏の班長を置く。其内加茂、久代班は殖林を經營し榮根、寺畑班は河川の浚渫をし孰れも相當好成績を示し居れり。

小花班長廣末昌一、小戸班長石井佐一、出在家班長山田集太郎、瀧山班長清下捨次郎、萩原班長中原正治、火打班長阪口庄治郎、寺畑班長前田良太郎、榮根班長佐伯彌吉、加茂班長篠本源二郎、久代班長久代勝太郎、久代新田班長戸田利右衛門

徵兵位等	體 格		體 重		現 役	徵集免除
	甲	乙	甲	乙		
丙	身 最大 五 尺 五 寸 最小 四 尺 九 寸 平均 五 尺	身 最大 五 尺 四 寸 最小 四 尺 八 寸 平均 五 尺	重 最大 一七二 磅 最小 一五〇 磅 平均 一六〇 磅	重 最大 一七二 磅 最小 一五〇 磅 平均 一六〇 磅	入營延期 一	徵兵猶豫 三
第九財	政 (九年度決算)					
所在不明	一					

歳入 財産收入七七一圓、使用料及手数料一、一四六圓庫下渡金一、二〇五交付金一、八二三寄附金一六、八〇二財産賣拂代一六七繰越金三、三九八雜收入一六六一地租附加税五、四〇五國稅營業稅附加税三、一六一

二、鍼灸兼業一、鍼灸按兼業一
法定傳染病患者者 コレラ二(死)二腸壁扶斯二(死)一赤痢一、シフテリア一(死)一計患者六死者四

第十一 社 寺

●神社 (加茂)郷社鴨神社(小戸)村社小戸神社
(出在家)村社三輪神社(久代)村社春日神社(火打)村社八阪神社(萩原)村社八皇子神社
●寺院 (久代)眞宗覺正寺(久代)日蓮宗久成寺(久代)眞宗得通寺(加茂)淨土宗阿彌陀寺(加茂)眞宗常忍寺
(榮根)淨土宗西念寺(榮根)眞宗淨福寺(火打)眞宗勝福寺(火打)眞宗圓福寺(小戸)淨土宗西福寺(小戸)曹洞宗
東明寺(小戸)黃 宗 禪庵(出在家)曹洞宗福壽庵(萩原)眞宗宗少林庵(小花)淨土宗觀音寺

第十一 會社銀行工場

名 稱	會社の目的	資本金	拂込金	積立金
能勢電氣軌道株式會社	旅客貨物運輸業	五〇〇〇〇〇圓	四〇六二五〇圓	四四四四圓
日本園藝株式會社	園藝一般の業務	一〇〇〇〇〇	四〇〇〇〇〇	三三七〇
●北攝銀行川西支店	小花村元池田倉庫會社の跡にあり、本店は川邊郡果谷村山下に在りて頭取は西尾庄右衛門氏、資本金二十五萬圓なり。北攝金融界に活躍すべく本年夏池田倉庫株式會社と合併し同社跡を支店とし			

十二月一日より開店す、將來は現在支店を本店に引直し資本金も増額して雄飛せんとする諸種の計畫あり
で益々信用厚く取引頗る盛なり。

●廣根銀行川西出張所 吳服橋西詰に在り、本年十月の開店なるが、本店は川邊郡中谷村廣根に在りて明治三十年の創業に係り資本金五十萬圓、現在預金の總高百萬圓に達し有力なる地方銀行として信用厚し將來更に資本金を増額し川西出張所を獨立せしめて川西銀行創立の計畫あり、同行の重役は左の諸氏。

取締役頭取肥爪廣吉、事務取締役廣吉茂一、取締役下岡龜一、同道上米松、同岡本藤太郎、同増出許一、同坊向武治郎、監査役田中治右衛門、同村山得治、同漆家俊治

●主要工場 職工十五人以上を使用せる工場左の如し

工場名	主要製品	平均一日使用職工	工場名	主要製品	平均一日使用職工
大物織物株式会社	晒金巾	二四	合資會社川西分工場	セルロイド	三
猪名川分工場	帽子製造	四	日之出友禪株式会社	禪捺染	二〇
高野製帽株式会社	襪製品	四	柴田帶革製造所	調革製造	一四
池田分工場					
中島護謄製造所					

六甲製革株式会社 關帶製作 二四

●猪名川製釘所 小戸に在り、資本金一萬圓の合資組織にして大正七年の開業に係り現在社員四名、職工七名を雇傭して將來益々發展せんとするの氣運に漲り居れり、代表社員中井佐市氏は當村の生れ、豫備陸軍歩兵上等兵の軍籍にありて資性謹嚴實直、又事業家としての識才に富み當社を發起して着々成功の域に達しつつあり。

●木田製材所 小花に在り、北攝有数の製材所として知らる、所主木田義太郎氏は弱冠にして既に郷里多田村の村會議員、農務委員、に舉げられ今尙現任中にあり、更に郡會議員に選ばれ郡參事會員、郡會議員の要職を兼ねる外郡農業評議員を現任す、嘗て前後兩回に亘り多田村長に推され縣農會評議員たりし事あり、地方政界の大立物として今や勢望旭日昇天の如し。

●北常製材所 小戸にあり、大正七年末の創設に係る店主北上常吉氏は本郡中谷村の生れ、明治二十七年現住地にて材木商を開業し本村に於ける斯業の先鞭をつく、其用材は三丹地方より買入れ需用日に増進して業務益々隆盛に赴き遂に必要に順應して現在製材所を起し顧客の眷顧に酬め、氏また夙に公共心に厚く本年四月推されて村會議員の任を帯ぶるに至れり。

●清水製材所 新宅橋西詰にあり、店主清水藤兵衛氏は川邊郡多田村多田院の生れ、大正五年の開業につて本宅を本村天之宮に有す、杉丸太の販賣及び製材を業とし目下十五名の使用人を雇備し逐日業務の隆盛を呈しつゝあり、主として材木の買入れは真日本の出雲及九州日向等にして其大規模の經營振りは益々顧客の信用を博する素因となり居れり。

●松榮建築請負業 建築請負業松榮重太郎氏は本村萩原に本宅を有し出在家に其事務所を置く、氏は大阪府南河内郡天美村字天美の生れにして資性沈着にして豪毅、堅忍不拔の精神を持して令名あり、同資本金四十萬圓を以て組織されたる大阪山口守治氏社長炭酸瓦斯株式会社工場の建築を請負多數部下を奮勵して勵精しつゝあり。

第十二 著名商家

●丸三運送店 店主上野喜太郎氏は明治廿三年石川縣能登守和島に生る、十五歳にして志を立て大阪に出て藥學校に學びしも感ずる處あり中途退學し四十四年幾多苦心の後大阪梅田驛前三共社を譲り受けて運送業を始め、更に大正三年北攝方面の有望なるに着眼し福知山線池田驛前、阪急電鐵池田停留場前、川西村火打に各支店出張所を置き斯界に活躍して信用厚し。

●吹田砂利部 吳服橋西詰にあり、砂利採取業を営む、主人吹田政七氏は大正元年本事業の有望なるに着目し獨立經營するや萬難を排し枯屈精勵して克く今日の隆盛を見るに至る、目下大阪市役所砂利採取の專屬となり使用人五十有餘名を雇備し數十臺の車馬常に來往して同店の信望敦厚なるを思はしむ令息勇氏亦よく父業を扶けて活動す、將來の繁昌更に見るべし。

●丸一自轉車商會 大正五年の開業にして本店を吳服橋西詰に置き、最近支店を新宅橋西詰に設けたり、一般自轉車の販賣及び修繕を業としキンク號、キンシ號、ライン號等の特約店たり薄利多賣品質確實を以て目下地方の信用を博して顧客日に店頭に蟬集せるを見る店主脇田喜太郎氏は丹波多記郡村雲村の人、却々の活動家なり。

●景井骨董店 吳服橋西詰にあり、珍奇古雅なる骨董書畫の多くを所藏し信用頗る厚し、店主景井虎吉氏は有馬郡三輪村の生れ、十五年前京洛に遊びて斯道の蘊奥を究め後十二年間の久しきに亘り書畫鑑定界の權威稻束芝馬太郎氏に師事して更に研鑽し今や一家を爲して北攝に其の名を馳はる、昨年郷里三田にて三田新聞を經營し地方言論界の爲めに盡す處ありたり。

●京都島田屋支店 天之宮にあり、京染悉皆業を營む、店主山田治三郎氏は池田の酒造家吉田勘兵衛氏の宅

……中村源平氏の一味平三郎氏の次男に生れ、幼にして山田家に入る山田家は代々京都島田屋に取引する事四代に及び治三郎は明治廿七父業を継ぎて今日に至る、悉皆業としては古き信用を博し健實なる顧客を有して家運日に榮ゆ。

●福井金物店 吳服橋西詰にあり、各種金物、大工道具一式並に建築材料の販賣を業とし本年四月の開業なり、店主福井三郎氏は豐能郡根根村大字稻地の生れ、多年大阪九條に於いて修得したる商才を發揮し品質の優良なる価格の低廉なるを以て知られ創業日淺きも既に敦厚なる信用あり吳服橋西詰通りに於ける第一位の店舗として逐日繁昌を見るに至る。

●渡邊雜貨商店 大正五年三月の開業にして吳服メリヤス足袋雜貨の販賣を業とし吳服橋西詰にあり、店主渡邊萬治郎氏は川邊郡稻野村昆陽の出身にして池田町の老舗永田吳服店に於て前後十二年の永き間商法に就いて修得する處あり、今や多年蓄蓄せる商略を以て顧客の吸收到に勵み信用を得て家運隆昌の域に向ひつゝあり。

●能勢口屋 阪急電鐵能勢口停留場前にあり、靴の製造及び販賣 業三す、店主兼崎重吉氏は明治廿四年七月京都市に生れ廿一歳にして本業に従事し大阪市木津に本店を有し、本年三月北條方面の有望たるに着眼し

て現在の場所支店を置くに至る、現在能勢電鐵阪急電鐵、大阪織物會社猪名川分工場等の用命を蒙りて非常なる信用を博し居れり。

●琴の家 天乃宮にあり、主人仲孫三郎氏は大阪加島屋敷七の一門加勢屋孫右衛門氏の六代目末孫に生れしが、幼にして川邊郡六瀬村木津にて養育を受け遂に仲家に入りて其の姓を襲ふ後長じて大阪に出で砲兵工廠に在りて六箇年を勤続し辭して銃砲及諸種機械の製作業を始めし中途病癒の爲め廢業し轉地療養の必要上常村に居を定め、其の後北海道に赴き水銀採取の業に指を染しも不幸挫折し歸郷して現在青樓を営むに至る昨九年村内科理業者の組合を組織するに共に土地の發展上猪名川藝妓檢番を目論見種々奔走の結果本年三月遂に之れを創設するに至りしも間もなく閉業し目下之れが再興につき講究中にあり。



人主家の琴
氏 郎 太 孫 仲



主店皆悉屋田島
氏 郎 三 治 田 山



主店送運組三丸
氏 郎 太 吉 野 上